

マウス左クリックをスイッチで操作できるようにする改造方法

テイサービスいしかわ
PT 石川正幸

2016.2.3

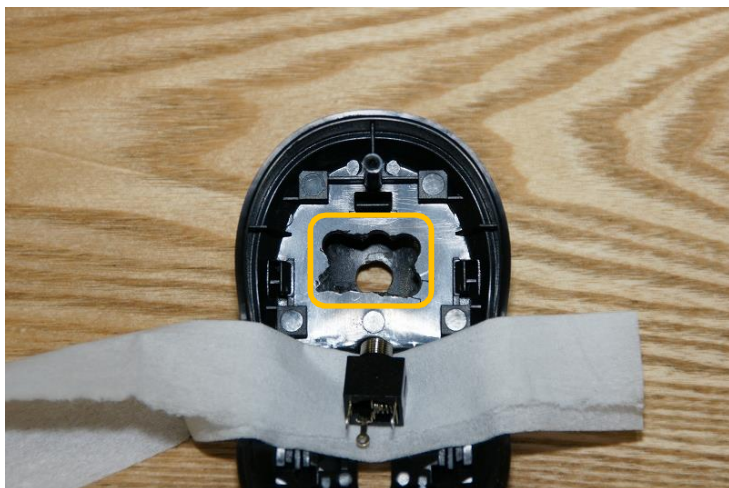
ガンバレ！
南相馬のクマちゃん



通常のマウスはねじ一本で固定されている。
このねじをまず外す。



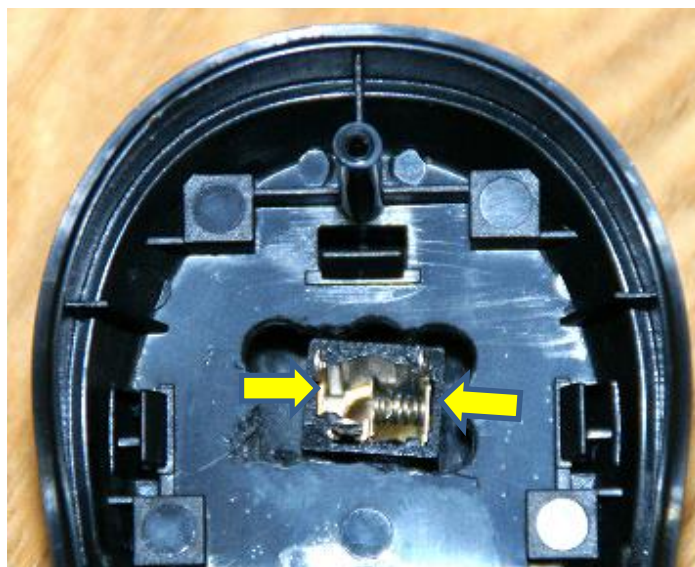
ネジ以外に、どこか引っかかっている場所がある。今回は上下の容器を矢印のようにずらすと上下に分かれる。



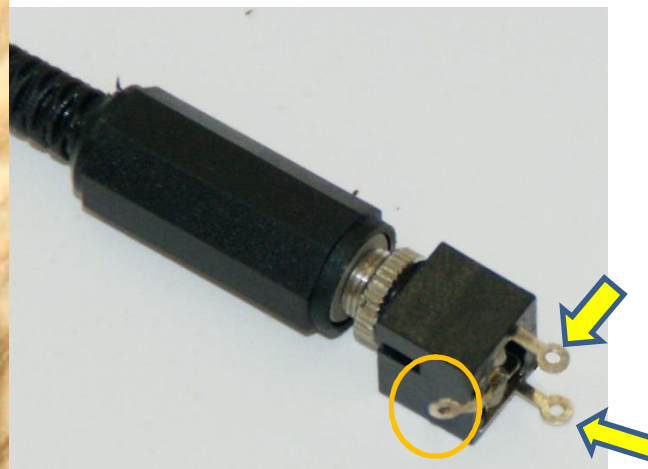
最も広い空間を探してそこに直径6mmのドリルで穴を開ける。
今回は、空間がなかったのでドリルで穴を開け、穴と穴をニッパ
でカットしてつなぎ空間を作り、その奥に6mmの穴を開けた。



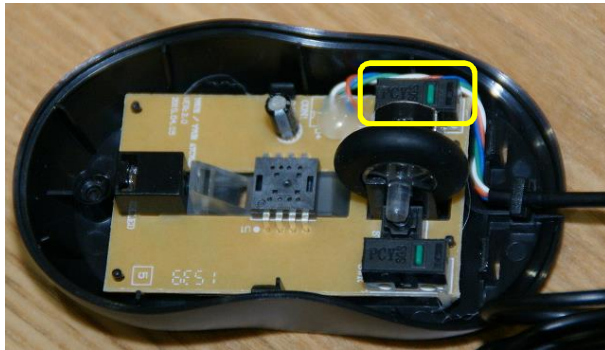
開けた穴にメス側コネクタを下から差し込みナットで固定す
る。



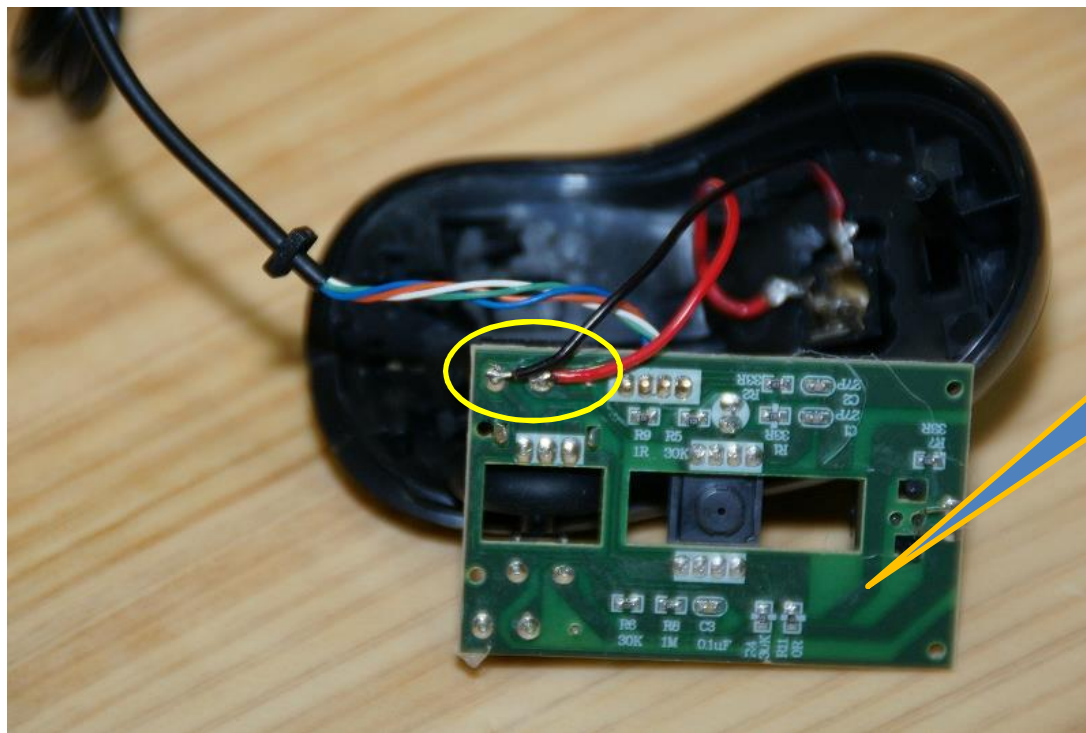
開けた穴に差し込んだメス側コネクタをマウス内側から
見たところ。2カ所の矢印で示した端子に約10cmのコード
をそれぞれ半田付けする。



丸で囲った端子は使わない。矢印
で示した向かい合っている2つの
端子にコードを半田付けする。



表から見たところ。
四角で囲ったところが左マウスに対応するスイッチ



基板上的配線とはこれのこと

基板を裏返したところ。
丸で囲ったところが左マウスのスイッチの端子。
このハンダされている2カ所の端子にメス側コネク
ターから来る2本のコードを、それぞれ半田付けする。
注)コードはどちらの端子に接続してもかまいません。
しかし、基板上的隣の配線に注意、触れない角度で
コードを半田付けすることが大切です。使っている内
に基板の配線のコーティングが傷つけられるとショート
するかもしれません。



邪魔な足

増設した配線が邪魔になり基板の収まりが悪くなったのでプラスチックの足をニッパーでカットしました。

マウスの左クリックをスイッチでONに出来るようにする改造を紹介しました。
スイッチの種類や形状は、患者さんの機能によって異なりますので皆さんのチャレンジをお願いします。